- ・「第2次中期計画」にあるように患者ニーズに応じた医療と介護の連携強化を通じた医療介護サービスの体制を早急 に構築してほしい。
- ・中新川郡内で唯一の公立病院として、住民に安心感を与えていることが入院・外来患者の満足度等から判断される。
- ・入院患者数の増加につなげる努力の形跡が伺えるが、単年度の純利益までにはつながっていない。更なる改革をお願
- ・少子高齢化が進み益々進む核家族化の中で、一人暮らしや高齢の二人暮らしが増加してきている。民間の医療機関と の連携も強化し、在宅医療の充実を図ってほしい。
- 病院、看護、介護の連携を強化し、訪問診療の充実を図ってほしい。
- 総合病院としての医師不足を解消して泌尿器科や脳神経外科等の強化、充実を図ってほしい。
- 地域に密着した信頼される病院を目指してほしい。

●数値目標達成に向けての具体的な取組

1 収入増加・確保対策(主なもの)

内 容	平成 28 年度			平成29年度	農
	計画値	実績値	達成状況	計画値	備考
入院外来収益の増収	31 億 9,536 万円	29億7,497万円	В	32億7,409万円	ほぼすべての診療科で 下まわった
病棟薬剤師配置による増収	1,400 万円	1,072 万円	С	1,400 万円	入院患者数減による影響
管理栄養士配置による増収	300 万円	254 万円	В	300 万円	入院患者数減による影響
リハビリテーションの充実	2億2,728万円	1億5,187万円	С	2億2,728万円	入院患者数減による影響
健診・ドック利用者の拡大 (年間健診センター利用額)	8,000 万円	9,367 万円	А	8,000万円	土曜レディース健診、 営業活動の効果による増
未収金の徴収強化	200 万円	181 万円	В	200万円	徴収専門員等による徴収強化、 法律事務所に回収委託

2 経費削減・抑制対策(主なもの)

内 容	平成28年度			平成29年度	備考	
	計画値	実績値	達成状況	計画値	順方	
SPD·共同購入による経費節減	平成 24 年度比で △ 200 万円		/\	平成 24 年度比で △ 200 万円	SPD 導入、共同購入の推進	
時間外勤務手当の抑制	対前年度比で △ 117 万円		С	前年実績対比 2%の減	時間外勤務の増	
全体の薬品費の削減	対前年度比で △ 50 万円			対前年度比で △ 50 万円	院外処方せん発行率の増 診療報酬のインセンティブ	
業務委託の内容および金額の 見直し	対前年度比で △ 200 万円		С		MRI などの医療機器の 保守費用の増	

当院では、超高齢化社会において医療・介護サービスの需要がますます大きくなる中、急性期機能を維持しつつ、 これまでも回復期リハビリテーション病棟の配置、透析センターの床数拡張などといった地域の医療ニーズに応えな がら急性期機能を維持しつつ、在宅医療までの切れ目のない医療提供を行うなど、医療面での地域包括ケアシステム における役割を果たすべく取り組んできたところです。

平成 28 年度の取組としては、8 月に在宅医療連携館が完成。地域医療連携室・家庭医療センターと訪問看護ステー ション事業との連携がより緊密となり、地域における在宅医療・介護の一体的な推進が強化されました。

また、平成28年10月には、一般病床11床および精神病床9床を削減し、全体の病床数を199床とすることにより、 地域包括ケア病棟の導入に向けた対応を行うとともに、病院運営の効率化を図りました。

今後、一層少子高齢化が進む中、病院経営の健全化、病床機能の分化・再編、必要病床数の適正化が求められており、 限られた医療資源を最大限に活かしつつ、地域完結型医療の構築を目指して、在宅医療や予防医療への取組を一層推 進することにより、安全・安心な医療を地域住民に提供することができる病院となるよう、地域医療体制の充実に努 めてまいります。

財務に係る数値目標

主な数値目標	য	平成29年度		
土な奴旧日保	計画値	実績値	達成状況	計画値
経常収支比率	96.7%	92.8%	В	98.0%
職員給与比率	65.1%	69.9%	В	63.9%
病床利用率(一般)	73.0%	69.7%	В	81.3%
病床利用率(回復期)	80.0%	59.1%	С	80.0%
病床利用率(精神)	53.0%	49.8%	В	64.7%
医業収支比率	88.6%	82.2%	В	90.3%
不良債務比率	0%	0%	А	0%
患者1人1日当たり診療収入(入院)	34,508円	34,999 円	А	34,390 円
患者1人1日当たり診療収入(外来)	10,276円	9,924円	В	10,384円
医業収益対薬剤費	11.6%以下	11.4%	А	11.3%
医業収益対診療材料費	6.1%	6.1%	А	5.9%
医業収益対委託費	11.9%	13.6%	В	11.8%

- ・経常収支比率は、平成 27 年度に比較して約 4.3%減、医業収支比率は約 5.0%減となった。
- ・病床利用率は、1年を通すと回復期、精神で目標値を大きく下回った。平成28年10月に 199 床へ減床し、一般病床および回復期リハビリテーション病床の適正な運営を試みたが、 患者数の回復が振るわず、目標に達しなかった。
- ・患者1人1日当たり診療収入は、計画値より入院で491円増加、外来では352円下回った。 入院の診療収入は増となったものの、患者数が伸び悩み、医業収入への影響は大きかった。
- ・薬剤費は、院外処方の推進により年々減少しており、計画数値を達成している。
- ・後発薬品への切替えは、目標値を達成しているが、今後も継続的に後発薬品の推進を進め維 持可能にしていく。

医療機能に係る数値目標

主な数値目標	7	平成29年度		
土な奴に日保	計画値	実績値	達成状況	計画値
1日平均患者数(入院)	143.8 人	128.9人	В	149.2 人
1日平均患者数(外来)	483.5 人	476.3 人	В	485.5人
紹介率	26.0%	21.4%	В	27.0%
分娩件数	120 件	97 件	В	120 件
外来患者満足度	85.0%	78.8%	В	85.0%
入院患者満足度	85.0%	86.9%	А	85.0%
在宅訪問診療回数	700 🗖	918 🗖	А	710 🗆
在宅復帰率	80%	75.3%	В	80%
救急車受入件数	550 件	506 件	В	550 件
手術件数	800 件	760 件	В	800 件
認定看護師数	10人	11人	А	11人

取組內容

- ・平成28年度は入院患者数、外来患者数ともに減少したが、特に入院患者数の減少が大きかった。
- ・紹介率も減少した。紹介率を高めることは、入院患者数の増加につながるため、地域連携室を中 心に紹介患者の確保を図っていく。平成28年度は、主な公立病院へ依頼に足を運んでいる。
- ・産科の分娩件数は前年度とほぼ横ばいであった。手術件数においても前年度との比較で 42 件の 減少であった。

結

実績不足

(http

■お問い合わせ かみいち総合病院事務局 総務課 ☎ 472-1212

 \mathcal{O}

そ員め

の結にす

公で、有の度

成者

年人